

彩のかがやき

高温対策を実施しましょう！

令和元年8月5日
埼玉県農林部

彩のかがやきの生育状況

高温により生育が早まり、葉色の低下しているほ場が多くみられます。
普通栽培（6月植え）は、幼穂形成期～穂ばらみ期で葉色診断の時期です

今後の見通し

8月1日発表の1か月予報では、向こう1か月の気温は高い確率60%と予報されています。出穂後20日間の平均気温が27℃を上回ると、白未熟粒の発生する危険性が高まります。

対策

**出穂後20日間は
気温に注意！！**

1 葉色確認と穂肥

白未熟粒の発生を軽減するために最も重要な対策は、葉色診断に基づく適期・適量の穂肥の施用です。

彩のかがやき穂肥施用時期の目安

田植時期	穂肥施用①	穂肥施用②	出穂期予定時期
5月30日	7月24日	8月6日	8月16日～18日
6月10日	7月26日	8月10日	8月20日～21日
6月20日	7月30日	8月14日	8月24日～25日

基肥＋追肥体系でも基肥一発体系でも、穂肥施用②の時期（出穂15～10日前）に葉色が4を下回った場合、必ずチッソ成分で2kg/10a程度の追肥を行いましょう。

2 水管理

穂肥施用時期～出穂7日後までは湛水状態を保ち、それ以降は入水したら水口を閉め、自然に落水させる間断かん水を行い根の活力維持に努めましょう。

かけ流しかん水は、用水不足を招き高温障害を助長する恐れがあるので絶対にやめましょう。

農作業中の熱中症にご注意ください。